

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

【商品分類】追加型投信／海外／株式

【設定日】2021年1月21日

【信託期間】2026年1月21日まで

【決算日】原則、7月25日

運用実績

基準価額および純資産総額

基準価額	9,281円
純資産総額	35.95億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1ヶ月間	4.26%
過去3ヶ月間	47.06%
過去6ヶ月間	87.53%
過去1年間	74.42%
過去3年間	16.62%
過去5年間	-
設定来	-7.19%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定來のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
2025年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移



※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております(以下同じ)。

※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。

※ 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。

※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
UNITED CHINA A-SHARES INNOVATION FUND - CLASS JPY	95.56%
SOMPOマネーブールマザーファンド	0.96%
コール・ローン等	3.48%

投資信託証券：United China A-Shares Innovation Fund

以下の項目はUOBアセットマネジメント・リミテッドおよび平安ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドが作成したデータを掲載しております。

構成比率

	純資産比
株式	91.1%
債券	0.0%
現金等	8.9%

業種別構成比率

	純資産比
情報技術	71.2%
資本財・サービス	17.9%
金融	2.0%
合計	91.1%

※ 業種別構成比率は、当社で作成しております。

市場別構成比率

	純資産比
国・地域	
上海	55.9%
深セン	35.2%
合計	91.1%

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

組入上位10銘柄

銘柄名	市場	業種	純資産比
1 ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD A	深セン	情報技術	8.7%
2 CAMBRICON TECHNOLOGIES A	上海	情報技術	7.5%
3 EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L A	深セン	情報技術	7.3%
4 FOXCONN INDUSTRIAL INTERNE A	上海	情報技術	6.6%
5 SHENGYI TECHNOLOGY CO LTD A	上海	情報技術	6.2%
6 CONTEMPORARY AMPEREX TECHN A	深セン	資本財・サービス	5.6%
7 HYGON INFORMATION TECHNOLO A	上海	情報技術	5.6%
8 SUNGROW POWER SUPPLY CO LT A	深セン	資本財・サービス	5.2%
9 ZHEJIANG HUAYOU COBALT CO A	上海	資本財・サービス	4.2%
10 GIGADEVICE SEMICONDUCTO CL A	上海	情報技術	3.8%
組入銘柄数			30銘柄

※ 組入上位10銘柄の業種は、当社で補完しております。

<ご参考>

主要株価指数

2021/01/21～2025/10/31



主要為替レート(対円)

2021/01/21～2025/10/31



円/人民元

2025年9月30日	20.89
2025年10月31日	21.66
騰落率	3.66%

※ 謙落率がプラスの場合は円安人民元高、マイナスの場合は円高人民元安となります。

※ 休日の場合は直近の指數値を表示しております。

※ 上記指數は市場動向を示したものであり、ベンチマークではありません。

出所:Bloomberg

出所:投資信託協会

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の運用の成果を保証するものではありません。

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

ファンドマネージャーコメント

United China A-Shares Innovation Fund

○市場動向

10月の中国A株市場は月間で小幅に上昇しました。世界株式については、米国の政府機関閉鎖、米中対立などを受けて一時的なリスクオフ局面が見られたものの、FRB（米連邦準備理事会）の利下げ観測に加え、巨額の投資発表を背景にAI関連銘柄への物色が継続し上昇しました。中国株式市場については、月前半、中国が米国産大豆の輸入をストップしていることに加え、レアアースの輸出規制の強化方針を明らかにする一方、米国側も関税率の大幅引き上げで対抗する方針を示したことなどから、情報技術セクターなどが軟調な展開となりました。米中首脳会談では対中フェンタニル関税の10%引き下げ、中国からのレアアース輸出規制の1年間の延期、米国の農産品の大量輸入といった項目で合意がみられ、市場には米中関係の悪化懸念がひとまず遠のいたものの、ビッグイベントで材料出尽くし感から、月末にかけハイテクグロース株などが売られました。こうした背景から、CSI300指数は月間で0.2%の上昇、創業板指数は月間1.5%の下落となりました（現地通貨、トータルリターンベース）。CSI300指数構成の業種別にみると、エネルギー、素材、公益事業などが月間上昇率上位に入りました。為替市場では、人民元（対ドル）は概ね横ばいとなる中、日本円は対ドルで円安となったことから、人民元（対円）は月間で上昇となりました。

○運用経過

当ファンドの月間成績はプラスとなりました。投資行動としては、情報技術セクターの配分を引き上げトップ継続（当月末時点で71.2%）とし、資本財・サービスセクターも配分を引き上げ（当月末時点で17.9%）、金融は配分を引き下げ（当月末時点で2.0%）、セクターを絞り込みました。この結果、一般消費財サービスやコミュニケーション・サービスは当月末時点で保有なしとしています。また、当月末の上位10銘柄には前月上位10銘柄にない3銘柄をランクインさせ、市場の動きに対しポジション変更を行いました。個別銘柄の寄与について、プラス寄与上位には、光通信モジュール・デバイス関連の「ジョンジー・イノライト」や電子部品メーカーの「カントン・シェンイー・テクノロジー」などが並びました。一方で、マイナス寄与上位には、モータードライバー集積回路の「フロンティア・テクノロジー（深セン）」やバッテリー構造部品関連の「深セン・ケダリ・インダストリー」などが並びました。

○今後の運用方針

中国国家統計局が10月末に発表した製造業PMI（購買担当者景気指数）は9月の49.8に対し10月は49.0と若干低下し、好不況の境とされる50を割り込む状況が継続、また、非製造業PMIは9月の50.0に対し10月は50.1と50を維持しました。10月下旬に開催された4中全会のコミュニケでは製造強国として「科学技術の自立自協」を促進、特に国内のテクノロジー強化に向けた取り組みを加速させる方針が示されました。10月の米中首脳会談は、米中通商摩擦に関して一定の緊張緩和をもたらしましたが、引き続き注意深くモニターすべき点であることに変わりはありません。投資機会に関連して、コンピューティング・パワーに着目しています。北米のコンピューティング・パワー・インフラはモデルとチップの進展によりアップグレードされましたが、メモリ容量と光チップの不足がボトルネックとなっています。また、北米の電力供給システムの変更が製造供給チェーンに与える影響を注視しています。一方、中国のコンピューティング・パワー産業は中期から長期にかけて成長が期待されており、米中間の戦略的競争において重要な領域とされています。これらを含む投資アイデアの更新を進めながら、相対的魅力度の高い銘柄をいち早く発掘し、厳選投資することを通じて中長期的な資産成長をめざします。

（各種情報を基に当社が作成）

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

ファンドの特色

- 主に中国の上海証券取引所および深セン証券取引所に上場する人民元建て株式（中国A 株）に投資し、信託財産の成長を目指します。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
 - ・ 当ファンドは、「United China A-Shares Innovation Fund」投資信託証券および「SOMPOマネーブールマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
 - ・ 原則として、「United China A-Shares Innovation Fund」投資信託証券への投資比率を高位に保ちます。
- 実質的な運用は、中国の総合金融会社である中国平安保険グループ傘下の平安ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドが行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

投資リスク①

《基準価額の変動要因》

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属いたします。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆価格変動リスク

株式の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク

株式の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式の価値がなくなることもあります、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。

為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあります、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆カントリーリスク

一般的に、主要先進国以外の国では、主要先進国に比べて、経済が脆弱である可能性があり、国内外の政治・経済情勢、取引制度、税制の変化等の影響を受けやすく、また市場規模や取引量が小さいこと等から有価証券等の価格がより大きく変動することがあり、ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

◆中国市場への投資に関するリスク

中国の証券市場及び証券投資に関する制度には、様々な制限等があります。これらの制限等は中国政府当局の裁量によって行われており、政策変更等により突然変更される可能性があります。また制度等の枠組みを構成する関係法令は、近年制定されたものが多く、その解釈が必ずしも安定していません。RQFII（人民元適格外国機関投資家）制度等の取引制度やこれら制度を通じた証券投資に対する中国国内における課税の取扱いについては、将来変更される可能性があります。

中国A株への投資においては、取引所による売買停止措置等から、意図した取引が行えない場合があります。

また、中国政府当局の裁量により、海外への送金規制（または海外からの投資規制）等が行われた場合には、換金が行えない可能性があります。

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

| 投資リスク②

《その他の留意点》

- ◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。
- ◆ 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

詳細については、[投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。](#)

| お申込みメモ

換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として8営業日目からお支払いします。 換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の解約および換金の停止（解約申込が一部受付となった場合を含みます。）ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等※その他やむを得ない事情により、有価証券の売却（主要投資対象とする投資信託証券の解約または換金を含みます。）や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。 ※ 外国為替取引の停止、決済機能の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、投資対象国等における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、税制の変更、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な低下もしくは資金決済に関する障害等をいいます。以下同じ。
換金申込不可日	・上海証券取引所、深セン証券取引所の休業日（半日休業日を含む） ・香港の銀行の休業日（半日休業日を含む） ・シンガポールの銀行の休業日（半日休業日を含む） ・シンガポールの銀行の休業日（半日休業日を含む）の前営業日
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※ 受付時間は販売会社により異なる場合があります。詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の解約および換金の停止（解約申込が一部受付となった場合を含みます。）ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等その他やむを得ない事情があると判断したときは、換金の受付を中止すること、および既に受け付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	2026年1月21日まで（設定日 2021年1月21日） ※ 委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	当ファンドの受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることができます。なお、主要投資対象とする投資信託証券のいすれかが存続しないこととなった場合には、繰上償還となります。
決算日	原則、7月25日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年1回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
公告	委託会社のホームページ(https://www.sompo-am.co.jp/)に掲載します。
運用報告書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（二ーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

東洋・中国A株ファンド「創新」2021(限定追加型)

※当ファンドは限定追加型となっており、募集は終了しております。

| ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用											
購入時手数料	購入価額に <u>一律3.3% (税抜3.0%)</u> を乗じた額です。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価									
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に <u>0.3%</u> を乗じた額です。										
投資者が信託財産で間接的に負担する費用											
運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に対して<u>年率1.188% (税抜1.08%)</u>を乗じた額です。 運用管理費用（信託報酬）は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末、ならびに換金時または信託終了のときに、ファンドから支払われます。</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td><td>年率0.35% (税抜)</td><td>ファンドの運用の対価</td></tr> <tr> <td>販売会社</td><td>年率0.70% (税抜)</td><td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td></tr> <tr> <td>受託会社</td><td>年率0.03% (税抜)</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td></tr> </table>	委託会社	年率0.35% (税抜)	ファンドの運用の対価	販売会社	年率0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.03% (税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価	
委託会社	年率0.35% (税抜)	ファンドの運用の対価									
販売会社	年率0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価									
受託会社	年率0.03% (税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価									
投資対象とする投資信託証券の信託報酬等	<p>年率0.80% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	投資対象とする投資信託証券の運用の対価、管理報酬等									
実質的な 運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの純資産総額に対して概ね<u>1.988% (税込・年率)</u>程度となります。 ※ ファンドの運用管理費用（信託報酬）年率1.188% (税抜1.08%)に投資対象とする投資信託証券の信託報酬等（年率0.80%）を加算しております。投資信託証券の組入状況等によって、ファンドにおける、実質的に負担する運用管理費用（信託報酬）は変動します。</p>										
その他の費用・ 手数料	<p>以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査費用 ・売買委託手数料 ・外国における資産の保管等に要する費用 ・信託財産に関する租税 等 <p>※ 上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用 ・売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ・保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 									

● 当該手数料等の合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

● 税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して20.315%
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合
毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○	

受益権の一部解約の実行の請求の受付、分配金・償還金および一部解約金の支払い等について扱っております。

＜備考欄の表示について＞

- ※1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※3 新規のお取扱いを行っておりません。

＜ご留意事項＞

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 SOMPOアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ : https://www.sompo-am.co.jp/ 電話番号 : 0120-69-5432 ●リテール営業部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社

当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、SOMPOアセットマネジメント株式会社が受益者の皆様への情報提供のみを目的として作成したものであり、投資信託の販売を目的とするものではありません。また、法令に基づく開示書類ではありません。
- ◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わること、或いは分配金が支払われない場合があります。
- ◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来的な市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来的な市況環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。